

却プールに保管されている燃料棒は大変な状況になるだろう。断層上にある浜岡、伊方原発は直下型地震が起きると崩壊するのは明らかである。

今回の事故で大規模な海洋、大気汚染を起こしている。原発周辺の土地は高レベルで汚染されているが、放射線管理区域の値とされる0.6ミリシーベルト以上の汚染は広範囲におよび、人体への被曝の影響が懸念される。年齢が低いほど影響は大きくなる。被曝線量の制限・限度量の上限を変え、国民の生命、財産を守るべき国は、いまだなお汚染地域に人を住まわせようとしている。

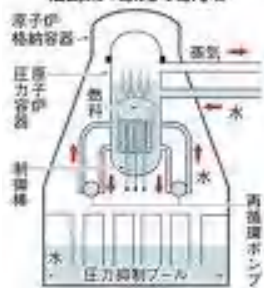


それだけではない、ガレキ処理は放射能で汚染されたものを全国に拡散させようとしている。放射能で汚染されたものは移動させないのが原則。全国で処理する理由はない。兵庫県は一年で同量のガレキ処分をした。ガレキは燃やさず堤防のように積み今後の津波対策に役立てる方法もある。

電力会社は夏の電力不足を問題にしているが、電気は十分足りているし発電能力に余裕もある。事業用の電気使用量が真昼にピークとなり問題としているにもかかわらず、家庭での節電を呼び掛けている。家庭の使用量が増える夕方は何の問題もない。

我々のなすべきことは被曝の恐怖を分かち合うことではなく、非汚染地に放射能で汚染されたものを受け入れることでもない。汚染地域の農民、漁民を非汚染地域に受け入れることが、将来の、この国

福島第1原発の原子炉



にとつて最も重要な課題である。

せめて夏休みだけでも汚染地帯の子供たちを非汚染地域に受け入れ、伸び伸びと屋外で遊べるようにしてあげられないものか。汚染されたガレキではなく人を引き受ける。非汚染地帯である「ここ九州へ」受け入れよう。

「人は電気がなくとも生きられる  
きれいな水と空気と大地があれば」



## 再稼働ノー、原発ノー

### ながさき紫陽花行動

七月二十日(金)昼休みに「原発再稼働許すなながさき紫陽花(あじさい)行動」に百人が参加して長崎市役所、県庁間を行進しました。

原発ゼロをめざす長崎連絡会がよびかけて三週連続して行動。東京での毎週金曜日の「原発再稼働反対」の首相官邸前行動に呼応して、毎回約百人が参加。

労働組合をはじめ、女性、医療関係者、ツイッターを見て参加した人など広範な人が、「原発再稼働再開NO!」横断幕を掲げて行進し、「原発はいらない」「再稼働反対」を訴えました。

連絡会では今後も様々な形態で運動を続けていくことにしています。



## ※原発問題の集い・取組みのお知らせ

◎ 脱原発パブリックコメントを送ろう!

政府のエネルギー・環境会議事務局が二〇三〇年の原発依存度(①0%、②一五%、③二〇〜三〇%)の在り方を国民に広く意見を求めているパブリックコメントについて、「さよなら原発一〇〇〇万人アクション実行委員会」が「私たちが選択できるのは、なるべく早期に0%とする『ゼロシナリオ』以外にありません」として、八月十二日(日)までの期限までにFAX(03.6368.9460)送信を呼び掛けています。

お問い合わせ、詳細は同実行委員会のホームページまたは事務局TEL(03.5289.8224)へ

◎ 原発はいらないおしゃべりお茶会

八月十一日(日)十四時〜十六時出島交流会館四階(県美術館横)において、NONUKES CAFE(原発はいらないおしゃべりお茶会)が開催されます。

DVD「未来への決断〜ノーモア原発」の上映や原発についてのそれぞれの思いを語り合う会となっています。参加申し込みは、NONUKES CAFE(とびの赤島さん(090.3074.4557)へ。

## 編集後記

梅雨末期の豪雨災害の後、いきなりの猛暑。そんな中、史上空前ともいえる反原発デモの高まりは、今後、消費税増税、TTP、オスプレイ問題など、国民的な課題を抱える諸運動にとつても、良き教訓として広がっていくことでしょう。一方、ロンドンオリンピックが始まり、世界の多くの国々が一堂に会することの素晴らしさを実感させられます。それはまさに憲法九条の世界観を彷彿とさせられます。